

## 第8回全国相撲指導者研修会

第8回全国相撲指導者研修会（主催＝日本武道館・日本相撲連盟、後援＝スポーツ庁、勝浦市教育委員会）は11月19～21日の3日間、千葉県勝浦市の日本武道館研修センターで講師7名・助講師2名、参加者25名が集まって行われた。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、募集定員の大幅縮小や換気・消毒の徹底など、万全のコロナ対策を講じたがらの実施となった。

本事業は全国で相撲を指導する小中学校・高等学校の教員および社会体育指導者並びにこれら指導者を目指す者を対象に、相撲授業における指導理論と指導法に関する研修会を実施し、専門的な知識・技術・指導法を習得した指導者を養成することを目的に開催された。

開講式では、はじめに安井和男日本相撲連盟専務理事が「この研修会を機会に、参加者相互に今後も意見や情報を交換できる関係を作ってください。そして、より一層、相撲の素晴らしさを子どもたちに伝えていただきまようお願いします」と挨拶。続いて、吉川英夫日本武道館理事・事務局長が「中学校武道必修化の全面実施から10年。子供達の健全育成のため、日本人の魂というべき武道の振興を共に図って参りたいと思います」と挨拶を述べた。

◇ ◇

### ■講義Ⅰ『指導法概論』：桑森真介講師

中学校武道必修化の概要説明に始まり、作成に携わった指導書の紹介、授業でのポイント・留意点の解説など、実際の現場で役立つ情報を紹介。相撲の学校教材としての魅力として、

- ・土俵がなくてもできる。どこでもできる。
- ・裸でなくてもできる。特別な用具は不要。
- ・専門家でなくても安全に指導ができる。
- ・初歩段階から試合を楽しむことができる。
- ・施設や用具の費用が安価である。

と、相撲授業の利点や魅力をアピールした。

### ■講義Ⅱ『安全管理・指導（1）』：安藤均講師

学校現場での安全管理と安全面に配慮した指導法・考え方などについて、具体例を挙げながら説明した。特に、指導者には、「起こらないだろう」ではなく「起こるかもしれない」という姿勢と、万一の場合の対応・事後処置を迅速・的確に行うことが重要であると強調した。

### ■実践研究Ⅰ『実技研修』：上村裕一講師、太田麻乃助講師、村田安啓助講師

基本動作から簡易試合までの実技を全員で行った。また、コロナ対策という観点から講師が考案した、身体的接触がなくても実施可能な簡易相撲の方法が紹介された。

### ■講義Ⅲ『指導計画』：堀内弥講師

中学生の協力を得て実施する模擬授業に向け、指導計画作成時のポイントを確認した。

### ■講義Ⅳ『安全管理・指導（2）』：南和文講師

実際の外傷・障害の事例や連盟医科学委員会の調査結果など豊富な資料を基に、中学校武道必修化をより安全に進めるための具体的な安全管理対策や指導方法について詳説した。

### ■実践事例紹介：廣瀬潤奈講師

山梨県富士吉田市立下吉田中学校教諭の廣瀬講師が、「相撲の特性を活かした授業をどう作りあげていくか」をテーマに、相撲未経験だった自身の授業づくりの取り組みを紹介。指導において「円形の土俵」「裸体で行う対人競技」「お互いが瞬時に全力を出して短時間で勝敗が決まる」「勝敗の見分けがしやすく生徒同士で試合を進めやすい」など、相撲の7つの特



廣瀬講師による相撲授業の実践事例紹介

性を根幹に据えることで授業が展開できるであろうと考え実践してきたという。本年度に実施した相撲授業の映像を交えながら、実践事例を紹介した。

### ■実践研究Ⅱ-1、Ⅱ-2

#### 『指導案作成』：上村裕一講師

#### 『指導の実践と観察』：堀内弥講師

#### 『研究協議』：村田安啓助講師

本研修会ならではのプログラムである、実際の中学生を生徒役とする「模擬授業」が、今回も徹底したコロナ対策の下、地元・勝浦市立勝浦中学校の生徒16名の協力を得て実施された。

今回は、「礼法」「四股」「押し」「受け身」「生徒の自主的活動を重視した指導」の5つのテーマが設定され、「相撲指導経験のない先生が相撲未経験の生徒にどう指導するか」の想定で、班ごとに、実際の授業同様に指導案を作成した。

模擬授業では、各班が創意工夫して作成した指導法を実践で試みた。生徒たちは未経験の相撲の授業ながら楽しみながら取り組んでいた。

終了後には、各班で授業内容を振り返るとともに、他の班の授業を観察した結果を発表し合い、模擬授業の成果を全体で共有した。

### ■実践研究Ⅲ『審判法 簡易試合の体験』：浦島三郎講師、堀内弥講師

浦島三郎講師による審判法の概要説明に続き、全員で審判の動作等を実践。その後、柔道帯の相撲や手押し相撲など簡易試合を体験し、最後に簡易試合で班対抗の団体戦が行われた。

◇ ◇

閉講式では、桑森講師が講評で「今回学んだことを各自の現状に合わせて工夫し、生徒に伝えてほしい」と述べ、浦島三郎日本相撲連盟参事の主催者挨拶で締め括り、全日程を終了した。

### 模擬授業の様子（地元中学生を対象に実際の授業形式で相撲の指導を体験）



「礼法」の指導

「四股」の指導

「押し」の指導

「受け身」の指導

「自主的活動重視の指導」では帯を利用した簡易試合

終了後、各班で授業内容を振り返り、全体発表